

広報川越

No.1372
平成28年8月10日



夏だ、プールだ！ 元気いっぱいの子どもたち(関連記事は8ページ)

小江戸川越花火大会：2
「わくわく川越商品券」予約受付中：3
交流30周年を迎えて：6

●「上下水道局だより」が折り込まれています。

*川越市ホームページ(<http://www.city.kawagoe.saitama.jp/>)でも、広報川越をご覧になれます。



川越市マスコットキャラクター
「ときも」

小江戸川越花火大会

打ち上げ数
約8,000発

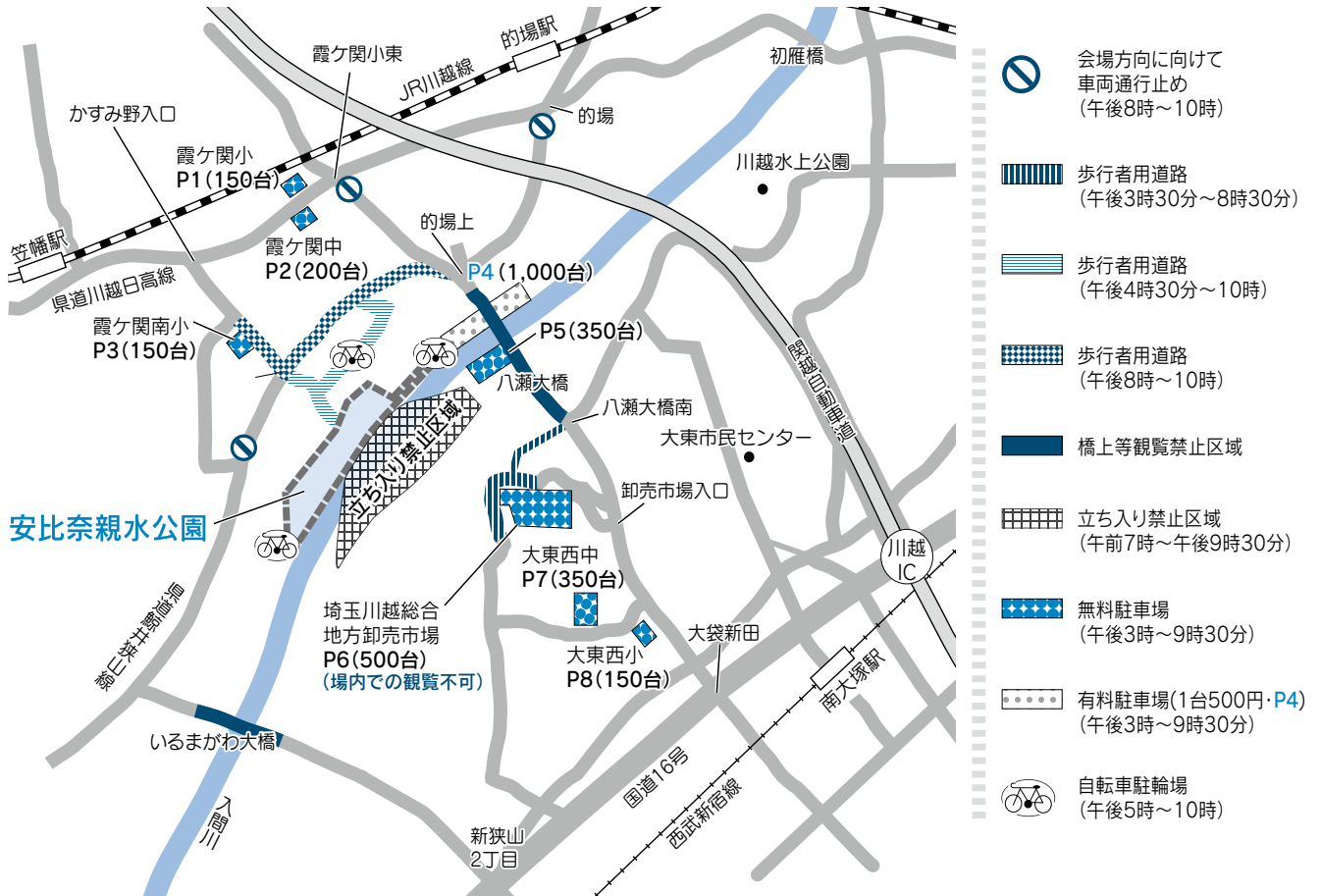
8月27日(土)、午後6時30分～安比奈親水公園

* 荒天等の場合は、28日(日)に順延。28日も荒天等の場合は中止。

共催 小江戸川越観光事業実行委員会・(公社)小江戸川越観光協会

問い合わせ…花火情報案内(ハローダイヤル)☎050-5548-8686(午前8時～午後10時)

当日の開催の可否について☎0180-99-1838(当日のみ、午後1時～8時)



交通

● 笠幡駅から安比奈親水公園まで徒歩約25分

* 臨時バスの運行はありません。

交通規制等

上の地図をご確認ください。なお、埼玉川越総合地方卸売市場内での花火の観覧はできませんので、ご注意ください。

お願いと注意事項

- 八瀬大橋付近を中心に、当日は混雑が予想されます。来場の際は公共交通機関の利用をお願いします。
- 自動車を運転する方は、安全運転に努めてください。自転車は決められた場所に止めてください。
- 路上駐車は禁止です。近隣の方に迷惑をかけるうえ、緊急車両の通行の妨げになります。
- 八瀬大橋・いるまがわ大橋からの観覧はできません。
- ブルーシートによる場所取りは禁止します。
- 小型無人機(ドローン等)の使用は禁止します。
- 会場は暗いので、懐中電灯を持参してください。
- マムシにご注意ください。

～川越市プレミアム付き地域商品券～

「わくわく川越商品券」予約受付中

産業振興課 ☎224-5934
川越商工会議所 ☎229-1850

9月5日(月)
(消印有効)まで

* 予約販売のみとなります。

商品券の有効期間 10月4日(火)～来年1月15日(日)

市では、地域消費者の購買意欲拡大により、地域経済と商店街等の活性化を図るため、川越商工会議所が実施し、川越商店街連合会・川越商店街連合会事業協同組合が協力する発行総額3億3千万円の商品券事業を支援します。

1万円で1万1,000円分の買い物ができる、お得な商品券です。商品券を使用できる取扱店は、特設ホームページ(「わくわく川越商品券」で検索)をご確認ください。また、取扱店では店頭ポスターを掲示します。

◆ 予約・購入方法 ◆

- ①専用応募ハガキ付きパンフレット(設置場所は下記参照)の応募ハガキまたは特設ホームページで受け付けます。ハガキの場合、必要事項を明記し、52円切手を貼って郵送してください(取扱店への持込みはできません)

予約受付期間…9月5日(月)(消印有効)まで

* 応募は1人1通まで、1世帯3人までとします。

* 必要事項に記入漏れや郵便料金に不足がある場合は無効です。

- ②予約数が発行数を上回った場合は抽選を行い「商品券引換ハガキ」を9月下旬に当選者へ郵送

③指定引き換え場所に「商品券引換ハガキ」と現金を持参し、商品券と引き換え

④引き換え期間後に売れ残りが生じた場合、1次抽選落選者の中から2次抽選を実施

■ 専用応募ハガキ付きパンフレット設置場所

川越商工会議所・ウェスタ川越・産業振興課(本庁舎5階)・メルト・ジョイフル・東部地域ふれあいセンター・北部地域ふれあいセンター・市民センター・公民館など



仮称川越市新斎場建設工事の進ちょく状況をお知らせします

新斎場建設推進室 ☎224-6144

建設中の仮称川越市新斎場は、平成26年度に建築工事を開始、同28年10月に完了予定です。今後は、植栽工事等を行います。

平成29年4月からの供用開始に向け、工事は順調に進んでいます。



建設が進む仮称川越市新斎場(左:上から/右:東側から。平成28年7月中旬撮影)

国民年金基金は国民年金に 上乘せする制度です

市民課 224-5764
国民年金基金は、厚生労働大臣の認可を受けて設立された公的な法人です。

国民年金基金に加入すると、老齢基礎年金に上乘せした年金が受けられます。また、掛金は全額社会保険料控除の対象となり、受け取る年金には公的年金等控除が適用されま

す。
資料の請求・加入の申し込みは、埼玉県国民年金基金 0120-654192にお尋ねください。

平成29・30年度入札参加者 の新規登録を受け付け

契約課 224-5632

市が発注する工事または業務の請負などの入札参加業者の新規登録を受け付けます。

建設工事、設計・調査・測量、土木施設維持管理(道路、河川、えんち苑地、すいどう下水道)

申請書類は、市独自のものと共同受付参加自治体で共通のものがありません。詳しくは、県入札審査課のホームページで「申請の手引」をご確認ください。

対象は、「埼玉県電子入札共同システム」のID・パスワードを取得していない業者です。

受付期間：9月9日(金)～10月7日(金)
(消印有効)

受付方法：申請書類を〒330-9301さいたま市浦和区高砂三丁目15-1・県入札審査課(持参不可)

*「埼玉県電子入札共同システム」のID・パスワードをすでに取得している業者の更新申請については、9月10日発行の広報川越で詳細をお知らせする予定です。

商店街振興促進補助に関する 事前相談

産業振興課 224-5934

市では、市内商業の振興を促進するため、商店街等が設置する街路灯などの共同施設およびイベント実施などの共同事業等に要する経費に対して補助金を交付しています。補助金の申請にあたっては、事前の相談をお願ひしています。

補助金の内容について詳しくは、市ホームページをご確認ください。

相談受付期間：8月31日(水)まで

対象：商店街等(商店街振興組合、事業協働組合、おおむね10店舗以上の構成員を有し規約等の定めが

ある団体)が平成29年度に実施する事業
申し込み：産業振興課(本庁舎5階)

都市計画案の縦覧

都市計画課 224-5945

川越都市計画の変更にあたり、都市計画法の規定に基づき、都市計画案の縦覧を行います。縦覧期間内は、県に対して意見書を提出できます。

変更する都市計画

- ①川越都市計画都市計画区域の整備、開発及び保全の方針(県決定)
- ②川越都市計画区域区分(県決定)
- ③川越都市計画道路(県決定)

縦覧期間：8月30日(火)～9月13日(火)、午前8時30分～午後5時15分
(土・日曜日を除く)

縦覧場所：都市計画課(本庁舎5階)、県都市計画課、川越県土整備事務所

*①・②については、日高市都市計画課、川島町まち整備課、飯能・東松山各県土整備事務所でも縦覧できます。

対象：市内在住および利害関係のある方

*①・②については、日高市、川島町在住の方も対象となります。

意見の提出方法：縦覧場所で配布する意見用紙に必要事項を明記し、〒

350-8601川越市役所都市計画課または〒330-9301さいたま市浦和区高砂三丁目1-1・県都市計画課(持参可)

提出期限：9月13日(火)、午後5時15分(必着)

川越駅西口市有地活用事業 業に関する説明会を開催

川越駅西口まちづくり推進室
245-6011

平成27年度に実施した川越駅西口市有地活用事業提案協議の検証結果の説明会を開催します。当日直接会場へお越しください。

日時：8月25日(木)、午後4時30分～5時30分

会場：南公民館(ウェスタ川越1階)
定員：先着120人

「埼玉いのちの電話」電話番号の変更 保健予防課 227-5102

つらい気持ち、こころの苦しみの相談を受け付けている「埼玉いのちの電話」のフリーダイヤルが、8月10日から変更になります。フリーダイヤルでの相談は、毎月1回、10日の午前8時から翌11日午前8時まで受け付けています。
●フリーダイヤル 0120-783-556
なお、フリーダイヤル以外でも、24時間365日相談を受け付けています。
●相談電話 048-645-4343

名称	市・県民税(第2期) 国民健康保険税(第2期) 後期高齢者医療保険料(第2期)	納期限	8月31日(水)	問い合わせ	介護保険課 224-5817 高齢・障害医療課 224-5842 収税課 224-5686
----	---	-----	----------	-------	---

市職員を募集します

職員課 ☎224-5553

平成29年4月1日採用予定の任期付職員(弁護士)を募集します。給与・勤務時間・休暇など、詳しくは募集案内をご確認ください。募集案内は、8月10日から職員課(本庁舎4階)・市民センター・連絡所・証明センターで配布します。また、市ホームページからもダウンロードできます。

職種・募集人員・受験資格等

職種…弁護士

募集人員…1人

受験資格…次の要件をすべて満たしていること

- ①日本国籍を有すること
- ②弁護士資格を有すること(司法試験に合格し、司法修習を終了した人に限る)
- ③弁護士名簿に3年以上登録されていること

任期…平成29年4月1日～同32年3月31日(3年間)

受験申し込み

郵送受け付け…8月22日(月)～9月30日(金)(消印有効)

電子申請…8月22日(月) 午前9時～9月30日(金) 午後5時(厳守)

持参受け付け…8月22日(月)～9月30日(金)、午前9時～午後5時(土・日曜日、祝日を除く)に職員課(本庁舎4階)

コンパクトシティ・プラス・ネットワークまちづくり説明会を実施します

～立地適正化計画&都市・地域総合交通戦略の策定に向けて～ 都市計画課 ☎224-5945

今後の人口減少と超高齢社会を見据え、いつまでも暮らしやすく活力のあるまちを持続的に発展させていくことが、これからのまちづくりの課題です。こうした中、都市の機能や人口を各地域の拠点に集めた「コンパクトなまち」を、誰もが自由に移動できる「交通ネットワーク」でつなげていく「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」という考え方が重要となっています。

市では今後、この考え方のもと、居住や商業、医療・福祉施設等の都市機能の立地誘導について定める「川越市立地適正化計画」と、交通に関するさまざまな施策をパッケージ化した「川越市都市・地域総合交通戦略」を策定していく予定です。この2つ

の計画の基本的な方針や、各地域拠点の位置づけ等について説明し、市民の皆さんから意見をいただく「まちづくり説明会」を開催します。当日直接会場にお越しください。

月日	時間	会場
8月24日(水)	午後6時30分～	7B会議室(本庁舎7階)
8月25日(木)	午後6時30分～	東部地域ふれあいセンター
8月27日(土)	午前10時～	メルト
9月1日(木)	午後6時30分～	大東南公民館
9月3日(土)	午前10時～	南公民館(ウエスタ川越1階)
9月5日(月)	午後6時30分～	高階市民センター

～ひとくち情報～ ミニ・インフォメーション ～ひとくち情報～

●川越市都市計画審議会を開催します 都市計画課 ☎224-5945

(仮称)川越市立地適正化計画の策定について。8月19日(金)、午前10時～。7B会議室(本庁舎7階)。傍聴は先着5人。受け付けは午前9時40分～。当日直接会場。

●長寿祝い金を支給します 高齢者いきがい課 ☎224-5809

9月1日時点で1年以上市内に住んでいる次の方に支給します。対象予定の方には、8月中旬に書面で通知します。
77歳(喜寿)=10,000円▶88歳(米寿)=20,000円▶99歳(白寿)=30,000円▶100歳以上=50,000円

●訂正 7月25日発行の広報川越 No.1371・23ページ「体力アップ倶楽部～中級編～」健康づくり支援課 ☎229-4125

会場について記載漏れがありました。会場…ウエスタ川越 市民活動・生涯学習施設 ご迷惑をお掛けしました。

交流30周年を迎えて

昭和61年8月1日に結ばれた川越市とセーレム市(アメリカ・オレゴン州)との姉妹都市提携から30年を迎えました。市では、30周年を記念し、川合善明川越市長、小ノ澤哲也川越市議長をはじめ、市議会議員、姉妹都市交流委員会委員、市民の総勢31人がセーレム市を訪問。現地では、姉妹都市提携30周年記念式典に参列し、これまでの交流を振り返り「姉妹都市再確認書」を交わし、今後さらに活発な青少年交流を進めていくことを決意しました。



板野徹さん(左)と妻の美津子さん(左から2人目)

また、滞在中に、世界の文化を紹介するオレゴン州最大のお祭り「ワールド・ピート・フェスティバル」に参加。法被を着て川越を紹介するパンフレットなどを配布する等、アメリカ国内外から集まった大勢の来場者に川越をアピールしました。今回、夫婦で参加した板野徹さん(新富町)は「30年間、中学生などの交流が盛んに行われているのは大変良いことだと思えます。文化的な交流ができるので、これからも続けてほしいです」と話してくれました。



フェスティバルに参加した川合市長(前列右から5人目)、小ノ澤市議長(前列右から6人目)、川越市民、セーレム市民の方々



姉妹都市再確認書に署名する川合市長(左)とアンナ・ピーターソンセーレム市長(右)



ふおとニュース



埼玉西武ライオンズ OB が熱血指導



7月2日、川越初雁球場で(株)西武ライオンズとの連携事業として開催された「埼玉西武ライオンズベースボールクリニック」。埼玉西武ライオンズのOB5人が、市内の中学1~2年生約90人に野球指導を行いました。

元プロ野球選手から指導が受けられる貴重な機会に少し緊張気味の生徒たちでしたが、指導が始まると、その目は真剣そのもの。OBの平尾博嗣さんは「失敗してもいいから最後までやりぬく」「何回も何回も繰り返して練習することが大切」など熱のこもったアドバイスやお手本を披露しました。こつを教わった生徒たちは、汗を流しながら、バッティングや守備練習に一生懸命取り組んでいました。



城南中学校・野球部主将の檜垣駿輔さん(写真左下・新宿町)は「埼玉西武ライオンズの方々に教えていただいたことを忘れずに、これからも野球の練習に励んでいきたいと思います」と充実した表情でした。





市長 からの 手紙

59 セーレムとポートランド

姉妹都市提携30周年を祝うため、6月24日から30日まで、オレゴン州セーレム市に行ってきました。

セーレム市を訪れたのは25周年のとき以来で、今回が2度目となります。最初のときも今回もそれほど多くの場所に行ったわけではありませんが、いかにも州都らしい落ち着いた品格の感じられるまちの様子は前回と変わっていないように感じました。日本の諸都市に比べると、ゆったりとおおらかに物事が動いているような印象を、今回も受けました。

セーレムから北に車で約1時間ほどの場所にある、近年全米でも住みたいまちのトップの座を維持しているというポートランドのまちづくりについて視察しました。前回訪問したとき、ポートランドは「職場、ショッピングセンター、病院など生活に必要な施設が住まいから歩いて30分以内にあるようなまちづくりをしている」

という興味深い話を行政の担当者から聞きました。今回、そのまちづくりがどう進展しているのかを確認したところ、「現在進行中である。順調に進んでいる地区もあればなかなかという地区もある」ということでした。

ポートランドは、環境に優しい政策を続けていることでも世界的に有名です。ライトレール(light rail)と呼ばれる路面電車のような鉄道と自転車の普及に力を入れ、コンパクトシティ化政策と併せて、経済を発展させながら二酸化炭素の排出量を減らすという、かなりハードルの高い目標を掲げ実践しているという説明でした。ライトレールに試乗して、最近建造されたウィラメット川にかかる鉄橋も見学しました。この鉄橋は、歩行者とライトレール専用のものでした。

ライトレールについて聞いたところ、その運営経費の3割は運賃収入、7割は税金からの補てんで賄っているそうです。経費の7割を税金から補てんしなければ維持できない公共交通機関を今でも拡大・延伸しているということは、よほど工夫をしないと、遠からず財政面での壁に直面します。政策の理想は分かりますが、果たしてこれは持続可能なのか、という点については今後の大きな課題であると感じました。

川越市長 川合善明

環境にやさしい行動を目指して 17
緑化をはじめてみませんか

環境政策課 224・5866

「緑化」という言葉を聞いて皆さんはどのような印象を持ちますか。企業や行政が行う大規模な工事を連想する方もいるかもしれませんが、緑化は難しいものではありません。簡単に言えば、「緑化」とは「みどりを増やすこと」です。

しかし、スペースがなければ緑化はできません。特に、市街地の地上部ではスペースが限られてしまったため、みどりを増やすことは簡単ではありません。

そこで、市では限られたスペースへの緑化に対する支援として「川越市みどりの補助金」という制度を設け、生け垣の設置・屋上緑化・壁面緑化・駐車場緑化に対して補助金を交付しています。昨年度、この制度を利用して生け垣を設置した方は、「生け垣を作るかどうか迷っていたけど、やっぱり作って良かった」と話してくれました。制度を利用した多くの方が、身近にみどりがある生活を楽しんでいます。



一人ひとりが緑化を行うことで川越市のみどりを増やすことができます。環境にやさしく、生活に潤いを与えてくれる屋上緑化や駐車場緑化などを、自宅や会社で実施してみたいかがでしょうか。

十五童子像

下の写真は、広済寺(喜多町)境内にある金毘羅堂に伝わる十五童子像です。右の像には7体の童子、左の像には8体の童子と1体の牛が表情豊かに精巧に掘り出されていて、それぞれが取り外せるようになっています。

また、背部に記された紀念銘から、嘉永5年(1852)、氷川神社本



殿の彫工として知られる当代一流の名工・嶋村俊表(しむら しゅんぺい)によって作製されたことが分かります。また、なかの小さなお堂の什物(お寺で使用する器具類)を、わざわざ江戸の名高い彫工に依頼していることから、金毘羅堂に対する当時の人々の信仰の厚さをうかがい知ることが出来ます。

平成7年、金毘羅堂は、建物と本像を含む常什物が一括して川越市の文化財に指定されました。博物館では「川越の指定文化財展」未来に受け継ぐ、郷土の宝物」を開催し、本像を始めとした50件の指定文化財を紹介しています。本展は市内の貴重な文化財がそろったにない機会です。個性豊かな地元川越の宝物と出会って、文化財を身近に感じてみませんか。

日程：8月28日(日)まで 経費：入館料

シャインマスカット



川越では、昭和30年代初めから巨峰の栽培が始まり、今では

さまざまな品種のブドウが栽培されています。中でもここ数年、人気が高まっているのがシャインマスカットという白ブドウです。

「種もなく皮ごと食べられて手間いらず。それに加えて香りの良さと巨峰に迫る甘さが人気の理由ですね」と話すのは、ブドウ農家の水村政巳さん(みづむら まさみ)。シャインマスカットは日光に弱いので、通常の袋かけに加えて紙製の笠をかぶせ、大事に育てているそうです。おいしい食べ方を聞くと「氷水で軽く冷やすと甘みと香りが引き立ち、みずみ

ずしさが増しますよ」と教えてくれました。

川越産のシャインマスカットは、8月から9月にかけてが収穫時期ですが、予約注文でそのほとんどが売れてしまうそうです。早めに予約して食べてみてはいかがでしょうか。予約については、市ホームページで公開中の「川越プチマルシェ～庭先販売マップ」に掲載されている、ブドウを扱う販売所にお尋ねください。



この時期に市内の直売所などで購入できる主な川越産野菜

キュウリ、ナス、エダマメ、ウリ、オクラ、トマト、ネギ、ゴボウ、モロヘイヤ、イチジク、ピーマン、ミニトマト、コマツナ、カボチャ、ゴーヤ、スイカ

編集後記

ぐんぐん

今年も暑い夏がやってきました。夏と言えばやっぱりプール。太陽が照りつける中、プールで楽しそうに水遊びをしている子どもたちを見てみると、小さいころ毎日プールに通ったことを思い出して、少し涼しくなった気がしました。



日本は夏で暑くなっていますが、今、世界が熱くなっているのはリオデジャネイロオリンピック。地球の反対側ブラジルでは、これから川越にゆかりのある10人の選手たちが、金メダルを目指して世界の選手と戦っています。

川越ゆかりの選手たちの競技日程は、7月25日発行の広報川越・3ページでお知らせしています。みんなで応援しましょう。